

ユニットⅣ 診察診断学・共用試験

【1】期間 2019. 12. 19～2020. 1. 25

【2】担当教員

長井 篤（教授，内科学第三）

磯部 威（教授，呼吸器・臨床腫瘍学）

狩野 賢二（講師，クリニカルスキルアップセンター）

【3】一般目標 [G10 (General Instructive Objective)]

患者の訴えから病態を正しく把握する医療面接の基本的手法を学ぶとともに，身体診察法の基本手技を講義，シミュレーター等による実習，OSCE 演習を通して体得する。

1. 患者の訴えを聞いて病歴をとり，診療録に記載できる。
2. バイタルサイン，皮膚や体型，胸部，腹部などの理学的所見をとり，系統的に診療録に記載できる。
3. 救急時に求められる対応の原則を説明でき，実際に ACLS が実施できる。
4. 小児や妊娠に伴う医療面接と身体診察の留意点を説明できる。
5. 医療における安全性の確保と危機管理の原則を説明できる。
6. 臨床試験や遺伝子診断・治療，緩和医療などにおけるインフォームド・コンセントの原則を説明できる。
7. 臨床実習を行うために必要な医学知識を習得しているか否か確認する。

【4】授業概要

2019年12月19日（木）

共用試験 CBT 受験

2020年1月6日（月）～1月24日（金）

講義・実習

- 1) 医療面接
- 2) 頭頸部診察法
- 3) 胸部診察法
- 4) 腹部診察法
- 5) 腎・尿路系診察法
- 6) 神経診察法
- 7) 皮膚診察法
- 8) 運動器診察法
- 9) 新生児・小児診察法
- 10) 妊産婦・胎児の診察法
- 11) 外科手技（皮膚切開縫合）
- 12) 救急蘇生（ACLS）
- 13) バイタルサイン測定
- 14) 基本的臨床手技（採血等）
- 15) その他

2020年1月25日（土）

共用試験 OSCE 受験

【5】評価

共用試験 CBT 及び OSCE を実施し評価する。不合格者に対しては再試験を実施する。